

第10章 文化財の保存・活用の推進体制

10-1 美作市における文化財の保存・活用の体制

文化財の保存と活用を推進するための美作市の体制は、下記のとおりです。今後は複数の分野にわたる専門職員を確保するなど体制を充実させる必要があります。同時に広く文化財を取り扱うため、民間団体等の協力や文化財の文化財保護法第191条に基づく市の文化財保護指導委員の設置、同192条第2項に基づく文化財の保存と活用を担う文化財保存活用支援団体の確立など検討する必要があります。さらには、認定を受けた「文化財保存活用地域計画」の周知や変更、実施に係る協議の場を設け、地域計画を推進していく必要があります。

美作市

美作市教育委員会事務局 社会教育課

- ・業務内容：生涯学習の推進、文化振興、公民館活動、社会教育施設の管理、人権教育、青少年育成、文化財保護
- ・職員：6名(文化財を専門とする職員1名)

その他文化財の保存と活用に関連する部署

- ・企画振興部企画情報課：空き家バンク、移住定住推進、地域振興
- ・企画振興部営業課：総合戦略
- ・建設部都市住宅課：景観、都市計画
- ・産業振興部観光政策課：歴史的資源の観光利用
- ・産業振興部商工政策課：観光施設
- ・産業振興部農業政策課：文化的景観
- ・総務部危機管理室：災害対応
- ・美作市消防署：災害対応
- ・美作市教育委員会事務局：教育総務課、学校教育課

美作市文化財保護委員会

- ・審議内容：指定文化財への申請及び現状変更、解除等に対する答申
- ・委員：15名(内訳 各旧町村選出9名、文化財所有者2名、学識経験者4名)

民間団体等

みまさか観光ボランティアガイドの会

- ・活動内容：市内の観光施設、史跡名勝などのガイド
- ・会員：14名

美作市歴史文化財研究会

- ・活動内容：文化財の調査研究、史跡整備、講座開催など啓発活動
- ・会員：60名

三星城保存会

- ・活動内容：美作市指定史跡「三星城」の保護と伝承普及活動
- ・会 員：45名

みまさか阿部知二を知る会

- ・活動内容：市内出身の小説家、翻訳家である「阿部知二」の啓発活動
- ・会 員：10名

「美作音頭」中尾四つ拍子保存会

- ・活動内容：作州地方の盆踊り「四つ拍子」の保存伝承
- ・会 員：4名

古町町並保存会

- ・活動内容：因幡街道大原宿の町並みの保存
- ・会 員：5名

真木山大伽藍史跡を後世に残す会

- ・活動内容：真木山長福寺伽藍跡の環境整備、周知活動
- ・会 員：10名

出雲街道を後世に残す会

- ・活動内容：出雲街道土居宿を中心に街道や峠の整備
- ・会 員：27名

歴史地名研究会

- ・活動内容：地名から土地の成り立ちや歴史を研究
- ・会 員：11名

美作市観光振興協議会

- ・活動内容：美作市の観光振興に資する活動
- ・会 員：9団体（市内旧6か町村観光協会、湯郷温泉旅館協同組合、みまさか観光ボランティアの会）

阿部青鞋顕彰会

- ・活動内容：本市に居を構えた昭和を代表する俳人の顕彰
- ・会 員：6名

後山茅文化を継ぐ実行委員会

- ・活動内容：文化庁「ふるさと文化財の森」指定「日名倉山茅場」の保存
- ・会 員：153名

一般社団法人創造遺産機構HERITA

- ・活動内容：重要文化財林家住宅の活用
- ・会 員：5名

岡山県文化財保護指導員

- ・取組内容：文化財等の保存管理に関する巡視及び指導・助言など
- ・指 導 員：1名

関係機関

岡山県(教育庁文化財課、岡山県古代吉備文化財センター、岡山県立博物館、岡山県立記録資料館、岡山県立図書館、岡山県立林野高等学校、岡山県警美作警察署)、岡山大学(岡山史料ネット)、岡山理科大学、岡山学院大学、美作大学、就実大学、一般社団法人岡山県建築士会

10-2 美作市文化財保存活用地域計画作成体制と経緯

地域計画は、関係団体、学識経験者及び行政関係者で構成する「美作市文化財保存活用地域計画策定協議会」を設置し、検討を行いました。

令和2(2020)年8月11日に第1回協議会を開催後、文化財に対する市民アンケートと中高生を対象とした文化財アンケートを実施し、幅広い世代から意見を聴収しました。令和5年7月には、パブリックコメントを実施し、市民から「美作市文化財保存活用地域計画(素案)」についての意見を募集しました。また文化財保護委員会、地域計画策定協議会での意見聴収を経て、文化庁へ認定の申請を行いました。

表33 美作市文化財保存活用地域計画策定協議会委員の構成

区分	氏名	所属・役職	備考
学識経験者 関係団体 公募選出	江面 嗣人	岡山理科大学建築歴史文化研究センター長	会長
	橋本 博光	美作市文化財保護委員会委員長	副会長 令和2年度
	富阪 皓一		副会長 令和3～5年度
	尾崎 聡	岡山学院大学・短期大学教授	
	定兼 学	岡山県立記録資料館特別館長	令和2年度
	能美 洋介	岡山理科大学	
	中田 利枝子	就実大学・徳島文理大学 非常勤講師	
	則本 孝	美作市商工会会長	令和2・3年度
	佐藤 宣義		令和4・5年度
	峯平 晃行	美作市観光振興協議会会長	
	森岩 厚	美作市観光振興協議会副会長	
	中島 操	みまさか市観光ボランティアガイドの会会長	
行政関係	上梶 武	岡山県教育庁文化財課副参事	
	平田 幸春	美作市教育委員会教育次長	令和2・3年度
	宮前 聖		令和4・5年度

表34 美作市文化財保護委員会の構成

氏名	所属	役職
富阪 皓一	郷土史(勝田地域)	委員長(令和3年度～)
小林 弘明	郷土史(勝田地域)	令和3年度～
森上 澄雄	郷土史(勝田地域)	～令和2年度
浅尾 善郎	郷土史(大原地域)	
浅田 年史	郷土史(大原地域)	～令和4年度
高橋 秀多	郷土史(東栗倉地域)	～令和4年度
小嶋 忠良	郷土史(東栗倉地域)	～令和2年度
西浦 豊照	郷土史(東栗倉地域)	令和3年度～
橋本 博光	郷土史(美作地域)	～令和4年度
石原 英明	郷土史(美作地域)	
中田 克典	郷土史(文化財所有者)	～令和4年度
山本 進一郎	郷土史(作東地域)	～令和4年度
内藤 勝利	郷土史(英田地域)	
長船 洋行	郷土史(英田地域)	
橋本 惣司	学識経験者	
山下 亨	学識経験者	
安東 逸子	郷土史(作東地域)	令和5年度～
加藤 妙友	郷土史(文化財所有者)	令和5年度～
中田 利枝子	学識経験者	令和5年度～
山崎 真由美	学識経験者	令和5年度～
中山 治美	郷土史(美作地域)	令和5年度～
山本 美佐緒	郷土史(作東地域)	令和5年度～

表35 作成の経緯

年月日		内容
令和2(2020)年度	8月11日	第1回美作市文化財保存活用地域計画策定協議会の意見聴収
	10月28日	第1回美作市文化財保存活用地域計画庁内会議の意見聴収
	11月11日	美作市文化財保存活用地域計画策定協議会委員市内巡回
	11月25日	美作市文化財保存活用地域計画策定協議会委員市内巡回
	12月22日	文化財保存活用地域計画作成市町村への指導専門家派遣事業 (西村幸夫氏:國學院大學教授)
	1月29日	美作市役所庁舎内アンケート実施
	3月15日	第2回美作市文化財保存活用地域計画策定協議会の意見聴収
令和3(2021)年度	6月14日	地域計画作成に係る文化財市民アンケート実施
	7月30日	第2回美作市文化財保存活用地域計画庁内会議の意見聴収
	9月8日	文化庁との協議(リモート)
	12月23, 24日	文化庁調査官現地指導
	3月15日	第3回美作市文化財保存活用地域計画策定協議の意見聴収
	3月25日	美作市文化財保護委員会の意見聴収
令和4(2022)年度	5月30日	文化庁との協議
	9月8~14日	美作市文化財保存活用地域計画庁内会議措置ヒアリング
	1月13日	文化庁との協議
	1月18日	第4回美作市文化財保存活用地域計画策定協議会の意見聴収
	1月31日	市内中学3年生、高校生対象文化財アンケート実施
	3月26日	美作市文化財講座「美作市の文化財のこれから」開催
令和5(2023)年度	4月24日	美作市文化財保護委員会の意見聴収
	6月8日	文化庁との協議
	7月5日	美作市文化財保護委員会の意見聴収
	7月6日	美作市文化財保存活用地域計画庁内会議の意見聴収
	8月10日	第5回美作市文化財保存活用地域計画策定協議会の意見聴収
	8月4日~18日	パブリックコメントの実施
	8月24日	第6回美作市文化財保存活用地域計画策定協議会の意見聴収